

ことばの
意味を
学ぼう！

女子青年の
ちかい②

おしえの庭に いそしみて
心は高く 身は低く
真理の道を きわめつつ
世の人々に 幸あれと
祈りにみてる わが心



※いそしむ▶一所懸命にする。はげむ。
※きわめる▶この上なしの所まで達しつくす。

「心は高く、身は低く」は、金剛さまがよく説かれた言葉です。世界平和を目指す私たちは、常に志を高く持っていないければなりません。だからといって人を見下し横柄な態度をとることは、これまた学びに反しています。高い志を掲げたならば、それを実現するためにまずは足元から始めることです。いつも謙虚な心を忘れず、人が嫌がることなどは率先して行ない、また周囲の人々の幸せを祈る姿勢こそ、私たちの学びの姿勢です。特に女性であれば、心は高く、行動は優しくしなやかに生きることが大切です。

具体的には、「女だから」と甘く見られたくないからと男性と無理に張り合ったり、高飛車になって相手を貶めたりするのではなく、自分が

●女子青年のちかい
神のみわざは かぎりなく みたまのふゆを
いただきて 父母の慈愛に はぐまれ 早
苗の如く 生いたちぬ おしえの庭に いそ
しみて 心は高く 身は低く 真理の道を
きわめつつ 世の人々に 幸あれと 祈りに
みてる わが心 おみなわびを ひたすら
に つつがなき日の よろこびを 手をと
り あいつ わかちつつ 清らに直ぐ 朗らかに
いざや進まん わが友よ

志を高く掲げながら、身は低く謙虚であることは私たちの学びの基本であり、金剛さまの説かれた「賢い」女性の生き方です。

女性であることを自覚して、余計な見栄やプライドに振り回されず、頼るべき時は頼り、自分が折れるべき時は折れる――、そんなしなやかでたくましい生き方が、これからの時代を生きる女性には求められます。

また、いつも周囲を見渡して、必要に応じて機転を利かせる「配慮性」も女性にとつて大切な要素です。皆が心地よくいられるようにと細やかな心配りのできる人は、周囲から愛される女性になれるでしょう。

志は高く持ちながら、それを振りかざすことなく柔軟に相手を活かすことのできる女性こそ、金剛さまの望まれた「賢い女性」の姿です。前回でも述べた通り、女性の役目は重要です。しっかりとみ教えを学び、賢い女性を目指しましょう。